



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.44

## 「お子様と外出する時に何を持っていくますか？」

女性のお菓子好きは幼児期から

この調査は雑誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象としたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

**【調査概要】**

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

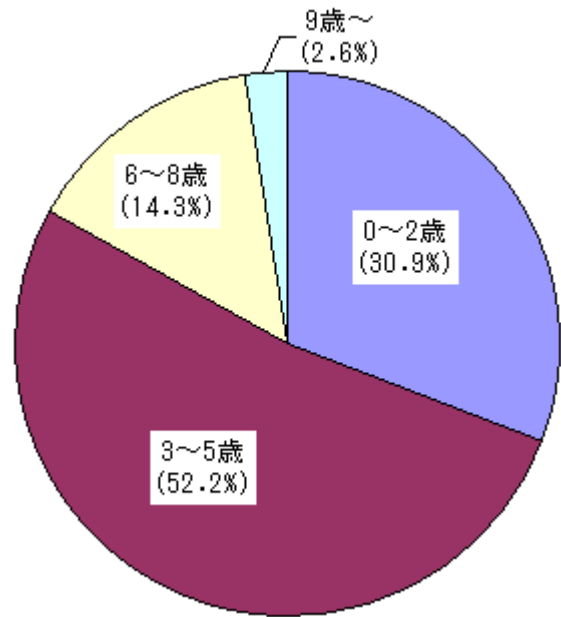
実施時期：1998年11月

質問内容：お子様と外出する時に何をもっていきますか

有効回答数：410人

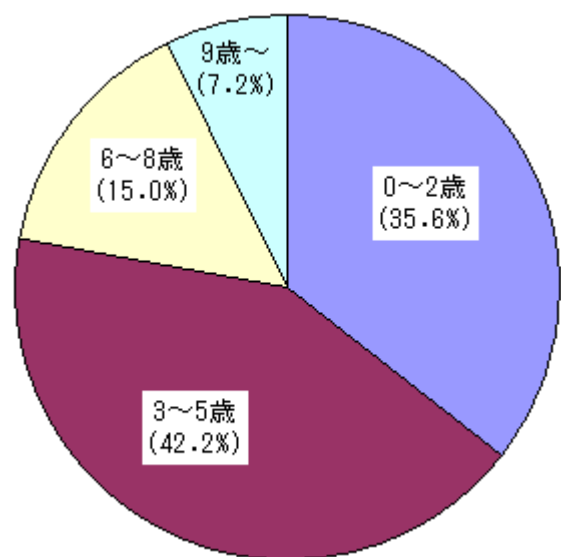
**★男児の母親★**

年齢内訳	0～2歳	71人
	3～5歳	120人
	6～8歳	33人
	9歳～	6人
	計	230人



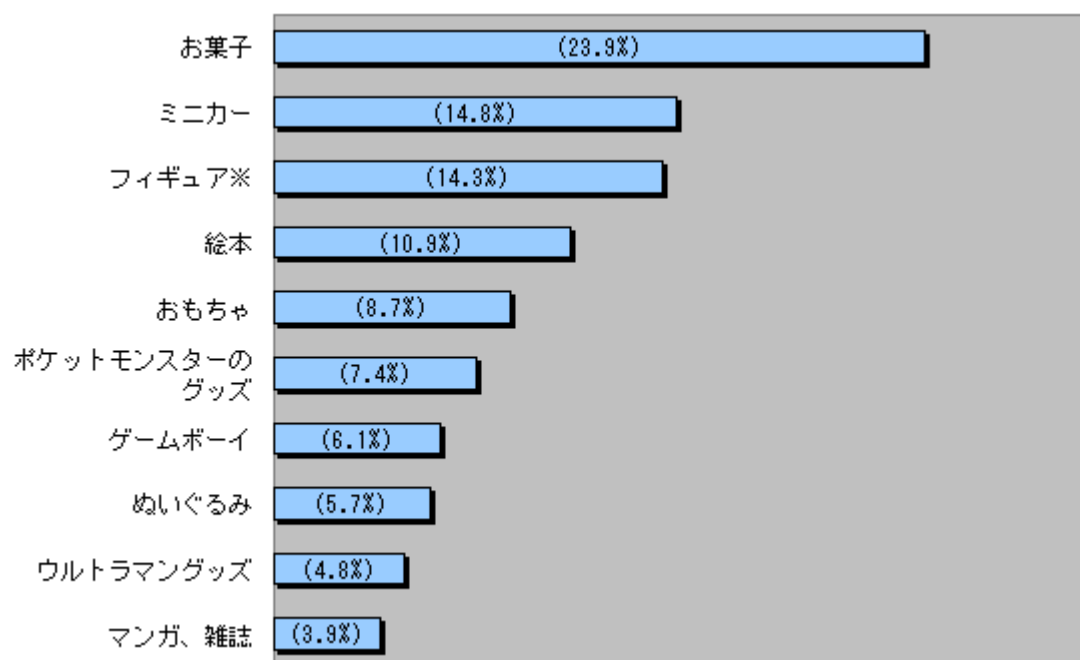
**★女兒の母親★**

年齢内訳	0～2歳	64人
	3～5歳	76人
	6～8歳	27人
	9歳～	13人
	計	180人

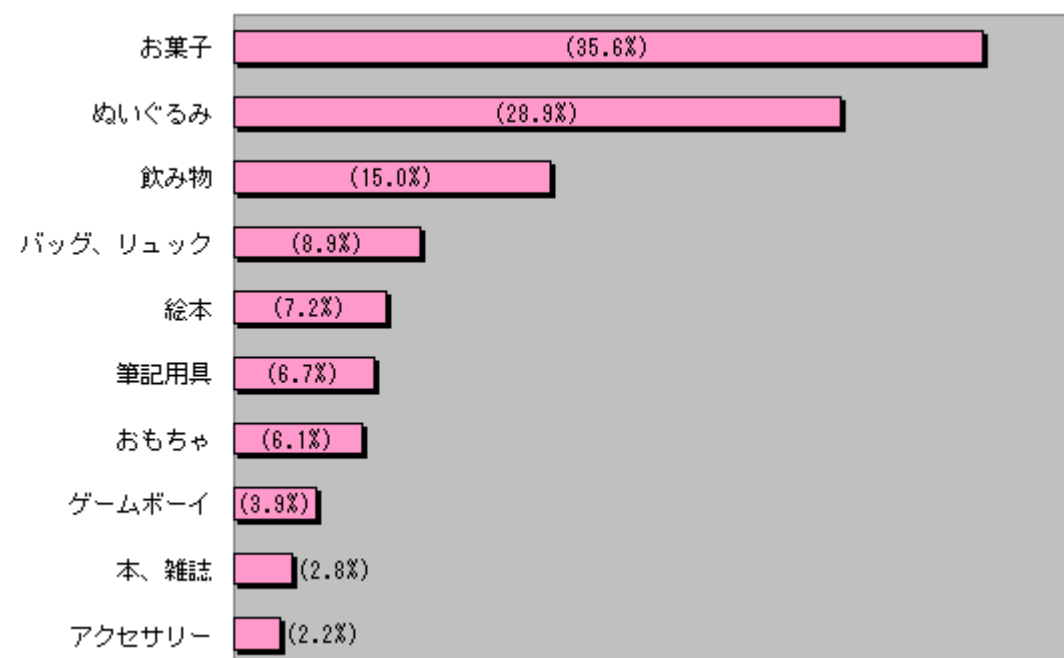


## <アンケート結果>

### ★男児総合結果 (230人中／複数回答含む)



### ★女児総合結果 (180人中／複数回答含む)



※ この場合のフィギュアは、小さいサイズの人形型玩具、または玩具菓子に付属の玩具の場合が多い。

※ 今回のアンケート調査では、オムツ、ミルク、タオルなど、保護者が用意するものは回答の集計から除外しました。

## <アンケート結果より>

### 女性のお菓子好きは幼児期から始まる

外出先で子どもを飽きさせたくない時に重宝するお菓子は、男女とも総合1位。

男児の場合は小学校にあがる年代の6歳以上では順位を落としているが、女兒はどの年代でも圧倒的にお菓子が1位となっている。女子高校生やOLなども鞆にお菓子を入れて持ち歩く人が多いことを考えると、女兒のお菓子好きは幼児期からといえそうだ。

### お人形は家の中の玩具、持ち歩くのはぬいぐるみ

男児は普段遊ぶものの中からミニカーやキャラクターのフィギュアなど大きさが手頃な玩具を外出先に持っていくことが多い。女兒の場合、人形とぬいぐるみの両方で遊んでいるはずだが、回答としてあがっているのはぬいぐるみだけだった。おそらく、人形遊びの場合は、着せ替え用の服や周辺グッズを広げ、世界観をつくって遊ぶケースが多いため、女兒にとっては家の中での遊び道具なのかもしれない。

女兒の総合結果で筆記用具が入っているのはお絵描きのためのもののようだ。一般に、お絵描きはらくがき帳やノートを広げて家の中でするイメージが強いが、実際は外出先でもすることが多いようだ。

### ゲームボーイの世界を持ち歩く男児

6歳以上の男児では、5歳以下では上位に見られなかったゲームボーイ、マンガ・雑誌、ポケットモンスターのグッズという回答が出てくる。この年代の読むマンガや雑誌には、ゲームボーイを含めゲームソフト情報が多く盛り込まれているほか、ポケットモンスターのグッズはゲームボーイソフトから派生したキャラクターグッズであることを考えると、ある意味では男児はゲームボーイの世界観を外出先でも持ち歩いていたのかもしれない。

## <年齢層別ベスト5>

### ★男児0～2歳（71人中／複数回答含む）

1. お菓子	32.4%
2. 車のおもちゃ	26.8%
3. ぬいぐるみ	11.3%
絵本	11.3%
5. ウルトラマンガッズ	9.9%

### ☆女児0～2歳（64人中／複数回答含む）

1. お菓子	39.1%
2. ぬいぐるみ	35.9%
3. おもちゃ	18.8%
4. 飲み物	17.2%
5. 絵本	14.1%

### ★男児3～5歳（120人中／複数回答含む）

1. お菓子	20.8%
2. フィギュア	20.0%
3. 絵本	14.2%
4. おもちゃ	13.3%
5. ミニカー	12.5%

### ☆女児3～5歳（76人中／複数回答含む）

1. お菓子	31.6%
2. ぬいぐるみ	28.9%
3. 飲み物	23.7%
4. バッグ、リュック	15.8%
5. 筆記用具	11.8%

### ★男児6～8歳（33人中／複数回答含む）

1. ポケットモンスターのグッズ	27.3%
2. マンガ、雑誌	24.2%
3. お菓子	18.2%
ゲームボーイ	18.2%
5. フィギュア	12.1%

### ☆女児6～8歳（27人中／複数回答含む）

1. お菓子	25.9%
2. ぬいぐるみ	22.2%
ゲームボーイ	22.2%
4. 筆記用具	18.5%
5. 本	14.8%
雑誌	14.8%

※ 9歳以上では保護者と外出する機会が減少するせいか、回答がほとんどなかったため集計結果から除外しました。

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所」の渡部尚美さんから以下のコメントをいただいております。

### ■こどもと外出する時に持っていくもの

おでかけは、こどもにとって家の中では味わえない刺激に満ちています。乗り物、店、商品、動物、いろいろな人々…。テレビや絵本でしか見たことのなかった様々なモノや音や光景が、今自分の目の前にあるのですから、一つ一つさわったりにおいをかいだりしたくなるのも無理はありません。

一方で、お母さんは気が気じゃありません。危なくないように、はぐれないように、他の人の迷惑にならないように…。さらに、親子連れという存在が、どうも世間からあまり歓迎されていないことを感じることも少なくありません。そうしたプレッシャーをはねのけながら、頑張っているというのに、ふと見るとわが子は道ばたの犬のウンコをしげしげと眺めていたりして…。

外出すると、自宅にいる時のようにはこどもの要求にすぐに応えられない場面が出てきます。「お腹すいた」「のどかわいた」「おしっこ」「眠い」「つまんない」…。こどもたちは＜自分の欲求がすぐにはかなえられない場所＞があるらしいことを、外出によって体験することになります。とはいっても、近くにお母さんの気配はあるし、「もう少し待ってね」と言われても、こどもたちは、わきあがってくる自分の欲求を上手になだめたりする経験がまだ少ないのでゴキゲンななめになったりします。

でも、＜今泣いたカラスがもう笑った＞というように、ちょっとしたことでもすぐに機嫌が回復するのもこどもの特徴です。アメ玉ひとつ、お気に入りのおもちゃひとつで、絶望の淵から急上昇し、空高く舞い上がることもこどもには可能なのです。そして、こうした経験を重ねながら、自分の欲求を少しの間なだめすかしたりする術、いわゆる我慢をするということを手につけていくのです。